



AREA WEB



令和6年5月15日 発行
峡東教育事務所
教育支援スタッフ (担当)
電話 0553-20-2731
Fax 0553-20-2733

「みんなちがって みんないい」 ～変化の激しい時の中で～ 山梨県教育委員会 峡東教育事務所 所長 中村 英彦

山々の緑が日ごとに鮮やかさを増し、爽やかな五月晴れに夏の気配を感じる頃になりました。皆様方におかれましては、日頃より峡東教育事務所の業務に対しまして、ご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、令和6年度がスタートして1ヶ月が過ぎました。変化の激しい社会の中にあり、年を追うごとに変化についていくのが大変だと感じているのは私だけでしょうか。新年度になり、学校生活で変わったものの中に、小学校の教科書があります。通常、4年ごとに行われる今回の改訂では、二次元コードが大幅に増え、子どもたちの使うGIGA 端末から情報へアクセスしやすくなっています。

そのような教科書の変化の中、変わらないものもあります。峡東地区で使用する教科書では、3年生の国語の教科書で扱われている「私と小鳥と鈴と」の詩です。「みんなちがって みんないい」このフレーズは、だれもがどこかでふれたことがあることでしょうか。童謡詩人の金子みすゞさんの代表作ですが、題名が示すように私と小鳥と鈴をくらべた3連、12行の短い詩が100年程を経た現在でも、人々をほっとさせ、心を動かす力があります。つくられた当時とは、「ちがい」の対象や広がりや異なっているのでしょうか、最近よく使われる言葉でいうなら「多様性」となるのでしょうか。

ところで、山梨県は、本年3月に新たな「山梨県教育大綱」と「山梨県教育振興基本計画」を策定しました。基本理念として、「主体的に学び 他者と協働し 豊かな未来を拓く やまなしの人づくり」を掲げ、これまで以上に変化が激しく、予測が困難で、未来を描きづらい時代を迎える中、誰もがそれぞれに思い描く幸せでありたいというウェルビーイングの実現をめざしています。

そして、その実現のために、「未来を生きる子供に必要な力を育む教育の推進」「誰もが可能性を伸ばせる教育の推進」「教育デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進」「学校を取り巻く教育環境の整備」の4つの基本目標を策定しています。今後5年間、この大綱と基本計画をもとに、一人一人のウェルビーイングが、家庭や地域、社会へと広がり、その広がりが多様な個人を支える好循環を創出することで「やまなしの人づくり」を推進していくこととなります。先の金子みすゞさんの詩は、やまなしの教育が目指す「多様性を認め合いながら夢や希望の実現に向け協働する」基本理念と軌を一にするものであるように感じます。

峡東教育事務所の今年度のスタッフは、総務スタッフが1名増え18名となります。これからの時代を生きる子供たちの望ましい成長と地域の教育振興のために、18人のスタッフ全員が一丸となり、関係機関や各種団体の皆様方と連携を図りながら、「主体的に学び 他者と協働し 豊かな未来を拓く やまなしの人づくり」を推進していく所存でございます。

今年度も皆様方の温かなご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



所長 中村 英彦 氏
塩山南小学校教頭を経て、令和3年度から主幹・指導主事、副所長として峡東教育事務所に勤務。事務所での勤務は通算6年目。

PDF版はこちら

峡東教育事務所のHPに掲載中！
「エリアウェブ」で検索🔍



山梨県教育委員会 峡東教育事務所 地域教育推進事業について

【主な業務】

- ① 峡東地域教育推進連絡協議会の運営
- ② 地域教育情報誌「エリアウェブ」の発行
- ③ 保幼・小・中・高・特支・大学の連携推進
- ④ 成人教育の推進（山梨ことぶき勸学院他）
- ⑤ 子育て・連携・人権に関する講演会の開催
- ⑥ 青少年教育の推進（やまなし少年海洋道中他）
- ⑦ 異校種間授業参観・県立学校出前授業の推進
- ⑧ いきいき教育地域人材活用推進事業
- ⑨ ふるさと山梨郷土学習コンクール
- ⑩ SSW（スクール・ソーシャル・ワーカー）

【スタッフ紹介】

○ 教育支援スタッフ（地域教育担当）

主幹・指導主事 立川 慶樹 & 主幹・指導主事 小佐野 拓

これまでの活動を引き継ぎながら「家庭・地域・学校の繋がり」を大切にしたい取組を推進していきたいと考えています。指導主事は都道府県及び市町村の教育委員会に置かれる専門的職員です。地域教育に関わるご相談等があればお声がけください。みなさまのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

○ スクール・ソーシャル・ワーカー（SSW） 深澤 真澄 & 佐藤 美弥 & 渡邊 悦子

管内の児童・生徒の問題解決を支援するため、スクール・ソーシャル・ワーカー（SSW）がサポートいたします。何か悩みごと等がありましたら、一人で悩まずお気軽にご相談ください。

令和6年度 峡東地域教育推進連絡協議会 事業計画（案）

1 『総会』（役員のみ参加・依頼文書を発送）

日時 令和6年7月9日（火）14:00～14:45
会場 山梨市民会館 4階 401会議室
内容 峡地連の組織・事業報告・事業計画・会則・その他

『子育て講演会』への申込は
下記QR またはリンクから可能です。



<https://forms.office.com/r/4iKqCbbfMh>

2 『子育て講演会』（山梨市教育委員会共催）

日時 令和6年7月9日（火）15:00～17:00（総会終了後）
会場 山梨市民会館 ホール
内容 生きづらさを持つ子どもたちに寄り添う ～あなたの子育ては「こどもファースト」「じぶんファースト」？～
講師 ・山梨YMCA 総主事 ・野の花保育園 園長 ・児童発達支援 ほかほか教室 管理者 中田 純子 氏

3 『保幼・小・中連携セミナー』（甲州市教育委員会共催）

日時 令和6年8月20日（火）15:00～17:00
会場 甲州市民文化会館 ホール
内容 「多様なニーズを持つ子供たちの支援について（仮）」
講師 山梨県教育庁特別支援教育・児童生徒支援課 副主幹・指導主事 小林ゆかり 氏

4 『人権のための講演会』（笛吹市教育委員会共催）

日時 令和6年11月14日（木）15:00～17:00
会場 いちのみや桃の里ふれあい文化館 多目的ホール
内容 「わたしたちができること～性の多様性を前提とした社会のために～」
講師 一般社団法人にじーず 古堂 達也 氏

5 『実務者会』（実務者のみ参加・依頼文書を発送）

日時 令和7年2月4日（火）15:30～16:30
会場 東山梨合同庁舎 103会議室（予定）
内容 峡地連活動総括と来年度の計画について

令和5年度はすべての講演会・セミナーにおいて、参加者全員の方から「とてもよかった」「よかった」との評価をいただきました。
本年度も多くの方々のご参加をお待ちしております。

「スーッと描ききる勇気が必要」～いきいき陶芸教室～ 甲州市立大和小学校



作品から黒の活かし方を学ぶ



どの色にするのか悩みどころ

大和小学校では例年6年生を対象に「陶芸教室」を行っています。柏原由和さんを講師に迎えて、今回は着色の作業を行いました。参考にしたのは琳派(りんぱ)の作品です。琳派は本阿弥光悦と俵屋宗達が創始し、尾形光琳・乾山兄弟によって発展しました。ポイントとなるのは「黒色」をどう活用するのか。たらし画法や波のラインなどの独特な画法を参考にしながら、子供たちは皿に描くデザインを決めていきます。まず鉛筆で薄く下書きをして、いよいよ筆での着色作業です。日本の筆を使う際には、ひじを留めて手首を動かしながらスーッと描くことがポイント。この描き方によって絵が自然と生きてくるようになります。子供たちは最初おっかなびっくりでしたが、覚悟が決まるとスーッと絵筆を走らせていきます。約2時間にわたる着色作業でしたが、風神雷神図に負けないような唯一無二の作品が生まれたかもしれません。



波のラインを一気に描き切る



「すべての人が一緒に競う」～ボッチャ体験～ 笛吹市立境川小学校・境川シニアクラブ



まずはシニアによる説明から

ボッチャはヨーロッパで考案されたスポーツでパラリンピックの正式種目です。年齢・性別・障がいのあるなしにかかわらず、すべての人が一緒に競い合えるスポーツです。ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、



どちらが近いかみんなで協議



戦略などのアドバイスを受ける

、いかに近づけるかを競います。2月19日に境川小学校体育館において「ボッチャ体験」が行われました。講師は境川シニアクラブの15名が務めました。シニアの最高齢は91歳で、児童と一緒にボッチャができることを心待ちにしていたそうです。最初に簡単なルール説明を行い、2つのグループに分かれてゲーム開始。お互いに「オッケー」「うまい」と声をかけながらゲームを進めます。最初のうちはシニアの方がアドバイスや審判を担当していましたが、途中から児童たちが「審判もやりたいです」といって審判も担当しました。普段触っているボールとは違う感触も考慮しながら戦略を立てます。ミスと思ったらナイスプレーにつながることもしばしば。世代を超えて楽しむことで、新しいスポーツの魅力を十分に堪能できた日となりました。



「伝えるための準備」～国宝大善寺 (Daizenji) を見学～ 甲州市立菱山小学校



薬師三尊像の説明から～Created in the early Heian period(794-1185)～



山門の説明から～It was constructed in Genroku17 (1704)～

「ぶどう寺」として有名な大善寺は甲州市勝沼町にある真言宗智山派の寺院で、柏尾山とも呼ばれています。国宝に指定されている本堂は薬師三尊像を安置していることから「薬師堂」とも呼ばれています。弘安9年3月16日(1286)の刻銘があり、築730年以上の関東周辺で最も古い木造建造物です。2月9日に菱山小学校の児童と県内に在住しているウクライナの方が大善寺の見学を行いました。この日のために児童は英語での説明資料を作成し、各所で英語での説明を行いました。英語が伝わらない場合のためにウクライナ語の準備をした児童もいました。外国語を学ぶ目的のひとつにコミュニケーション能力の向上がありますが、異なる文化やバックグラウンドを持つ人々と円滑に意思疎通できるきっかけは「私の言葉が伝わった!」という小さな体験の積み重ねです。もしかしたら、子供たちが将来世界で活躍するための第一歩を踏み出した瞬間だったかもしれません。



雪が少し残る中での見学

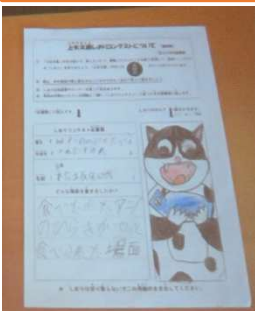
という小さな体験の積み重ねです。もしかしたら、子供たちが将来世界で活躍するための第一歩を踏み出した瞬間だったかもしれません。



「読書は自分づくりにつながります」～上矢文庫～ 笛吹市立一宮北小学校



全校児童の前なので少し緊張します



思い思いのしおり

3月5日に一宮北小学校において「図書集会」が行われました。上矢智幸先生は毎年多くの児童図書や辞書を寄贈しており、蔵書は「上矢文庫」として活用されています。図書集会では代表者による本の紹介・しおりコンテスト表彰などを行いました。各学年の代表者による本の紹介では、各自の読書の記録を元に、本の魅力や自分が感じたことを伝えました。続いてしおりコンテストの表彰が行われ、各学年から1名・特別賞1名に記念のメダルが贈られました。誰が表彰されるかは発表まで分からないため、児童も心なしか緊張の面持ちです。名前が呼ばれた瞬間、満面の笑みを浮かべた児童、驚きの表情を浮かべた児童と反応も様々です。最後に上矢先生から子供たちに向けて、次のような声かけがありました。「ネットが当たり前の世界であ



あらためて読書の大切さを伝える

っても、読書を通じて学べることはたくさんあります。これからも読書を続けてください・・・」読書は自分づくり(自己形成)につながっていくこと。世代を超えての大切なメッセージを受け取ることができました。

「楽しみながらSDGsを学ぶ」～消防ホースがポーチに～ 笛吹市立石和西小学校



司書の中村さんによる読み聞かせ



消防ホースが素敵なポーチに

1月26日に石和西小学校において、4年生と保護者を対象の「PTA親子活動」が行われました。講師に笛吹市図書館の中村さん、笛吹消防署にお勤めの大塚さんと中込さんを迎えてSDGsについて学びました。石和西小学校では総合的な学習の時間の中でSDGsや環境問題について学んでおり、今回はそれを深めるための機会となります。まずは司書の中村さんによる絵本「ボタン」の読み聞かせです（あらすじ：クローゼット奥のママのボタンコレクションを見て、ママの青春にまで思いをはせる女の子。そしてママからすてきなプレゼントが・・・）続いて親子で協力しながら、不要になった消防ホースをポーチに生まれ変わらせます。作業自体は難しくありませんが、ホースに穴を開けるのには結構力がいります。ポーチが完成すると「ポケモンカードを入れる！」などと大喜びです。最後にSDGsに関するスゴロクを楽しみながら、SDGsが掲げる17項目について確認しました。一人一人のちょっとした心がけが、大きな未来につながることを感じることができました。



スゴロクでSDGsについて確認する

ことぶき勸学院『入学式』 甲府・峡東教室『開講式』 山梨ことぶき勸学院

山梨ことぶき勸学院では、セカンドライフの新たな絆の創造と健康で活力に満ちた、地域の活性化に貢献できる人材育成を目指しています。

令和6年度入学式（4月19日・YCC県民文化ホール）



新入生の誓いの言葉

令和6年度は甲府・峡東A・B教室に新たに46名が入学しました。厳粛な雰囲気の中で行われた入学式では、甲府・峡東A教室の樋口貴美子さんが新入生代表として誓いの言葉を述べました。「勸学院で学んだ成果を、地域社会に還元できるように」という



上田誠仁教授の講演では書道のパフォーマンスもありました

決意が語られました。県教育長である降旗友宏学院長は式辞の中で、貝原益軒の『養生訓』を引き合いに出し、健やかに人生を送るための術を紹介されました。また、入学式・始業式に引き続き行われた山梨学院大学上田誠仁教授の講演会では、上田先生が大切にしている言葉として後漢書のお話『疾風知勁草』が語られました。さらに異世代交流として甲府第一高校ア・カペラ部の合唱が披露され、学生の皆さんは大いに刺激を受けていました。まさに新たな学びの場のスタートにふさわしいものでした。



甲府一高ア・カペラ部と会場の皆さんで「花は咲く」の合唱

令和6年度甲府・峡東教室1年開講式（4月26日）



峡東教育事務所中村所長の祝辞

入学式から1週間後に甲府・峡東A・B教室1年の開講式が行われました。令和3年に峡東教室は甲府教室と統合されましたが、この4月から名称が「甲府・峡東教室」に改められました。開講式では峡東教育事務所の中村英彦所長より、教育基本法第3条の内容に触れ、生涯学習を行う意義を含めた祝辞がありました。開講式に引き続き、クラス写真・班別写真・学生証用の個人写真の撮影、担任の



新たな学びに向けての第一歩です

先生から年間の予定や単位修得についての説明、さらにはクラスや班の役割分担の決定まで盛りだくさんな3時間でした。ここから2年間の学びが始まります。今年度のカリキュラムの大テーマは「人生100年時代を生きるシニアの生き方・在り方」です。充実した学びが行われることと思います。

「正しい知識を身につける」

山梨市立加納岩小学校・山梨市役所健康増進課



まず今日の「めあて」を確認します



8項目のセルフチェック

3月14日に加納岩小学校において「検診の大切さを伝える講話」が行われました。山梨市役所健康増進課の後藤さんを講師に迎えて、生活習慣病やがんの予防、特定健診やがん検診について学びました。特定健診は予防を重視し、生活習慣の改善を促すことを目的としています。がん検診は



早期発見の重要性について学ぶ

特定のがんの早期発見を目的としています。最初に子供たちは生活習慣の振り返りを行いました。「朝ご飯を食べない・甘い飲み物をよく飲む・・・」などの8つの項目でチェックを行いました。個人により結構差がでます。「習慣をあらためなきゃ！」という声も聞かれました。また、がん治療における早期発見の重要性について

についても確認しました。あらためて日々の小さな積み重ねが大切であることを実感した時間となりました。

「疑問を持ち行動することから始まる」～SSH 研究発表会～

県立日川高等学校



This research presentation was conducted entirely in English.

3月8日に日川高校において「SSH 研究発表会」が行われました。本年度の集大成といえる発表の場であり、パワーポイントによる課題研究口頭発表や個人またはグループによるポスター発表が行



生徒全員によるポスター発表



いかに分かりやすい表現で伝えるか

われました。最初に行われた口頭発表では2つの研究が発表されました。物理・地学部による『日川高校グラウンドにおける黄色ブドウ球菌に関する研究』では、資料・発表ともに英語であるため、普段以上に集中しながら発表に耳を傾けます。また、生物・化学部による『桃の花の色素を用いた画材づくり』では、試行錯誤を繰り返しながら物づくりを進めていくプロセス、まさに「探求」することの意義を認識することができました。体育館と2・3階フロアで行われたポスター発表では、生徒・職員・来校者が集まって活発な意見交換が行われま

した。想定外の質問に戸惑う場面もありましたが、新たな気づきも多くありました。「なんでだろう？」と感じる日常における何気ない疑問。それを解決するためにどう行動できるのか。まずは失敗を恐れず動いてみることからすべてが始まります。

❖❖❖❖❖❖❖ 峡東教育事務所からのお知らせ ❖❖❖❖❖❖❖

◆皆様のご協力により「異校種間授業参観可能日一覧表」「県立学校出前授業一覧表」が完成しました。

◆地域情報紙エリアウェブを通じて、「他校種の情報を知ることができる」「連携のきっかけになる」とのお声を寄せていただいております。特別なイベントである必要はありませんので、お気軽に情報をお寄せください。(記事として峡東地域で紹介させていただきます。現在約300カ所に配布中)

☎ 0553-20-2731 (担当・直通)